令和４年１２月１３日

社会福祉法人いずみ　ひまわり（児童発達支援）

令和４年度 ひまわり（児童発達支援）　自己評価に対する検討結果

アンケート実施期間：令和４年１１月

	アンケート結果	改善目標、工夫している点
環境・体制整備	１、（スペースについて） 保護者より 「部屋を使い分けのびのび活動している、広い部屋も使用できている」と複数あった。 事業所より 「園児数が多い時や活動内容によっては狭く感じる事がある。レイアウトや他の部屋を使用し工夫している」「安全な環境設定の為空間内の工夫が必要」とあった。 （２、職員配置について） 保護者より 「ＯＴが着任し嬉しい」と複数あった。「新任職員の新しい目線が良い」とあった。 職員より 「園児数、活動内容で不足を感じる場合は他事業所からのヘルプを依頼して安全に対応している」とあった。	（１、スペースについて） ・他室(放課後等デイの部屋)利用について：午前(ひまわり活動時間)は空室が多く、ＯＴ個別や、登園人数の多い活動時、運動遊び等、使用する事で広いスペースが確保できた。感染予防対策にも繋がった。 ・日々の登園人数が増え、メインで使用する部屋が狭く感じる事があった。10 月に部屋のレイアウトを変え、空間スペースを広げた事で改善に繋がる。今後も必要物品、利用児が使用する椅子、バギー等の管理場所の検討が適宜必要。 ・動きの活発な子どもも増え、安全な環境設備作りがより一層求められる様になっている。 （２、職員配置について） ・各専門職あり、連携を取り役割分担を行い、日々の療育に当っている。 ・ＯＴが着任したことにより、個々へのリハビリが充実し、日々の療育向上に繋がっている。保護者の方とのリハ計画等での連携もまめに行っている。 ・職員数については必要時には多く配置する様にしていた。多くの職員が関わる事が多かった。

業務改善	事業所より ・「第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。」には「いいえ」の回答だった。	・事業者向並びに保護者向自己評価表を実施している。結果は回覧や配布により周知、またホームページで報告している。今後も継続して実施していく予定。 ・第三者による外部評価は未実施。まずは、自己評価の結果を踏まえて支援の向上につなげていく。 外部評価の実施については、今後検討していく。
適切な支援の提供	保護者より ・「保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子供と活動する機会がある」では「落ち着いたら交流をしたい。」との意見が保護者よりあった。	・コロナ感染症予防の為、今年度、他施設交流は行わなかった。法人内での交流は行う様にした。一昨年度までは他事業所との定期的交流はあった。再開については、感染状況など踏まえ、検討していく。
	保護者より ・「連絡帳の記入漏れがたまにある」との意見があった。	・連絡帳の記入漏れについては、記入漏れの内容に複数職員で確認する等して、徹底していく。送迎での口頭での連絡も引き続き行う。
	事業所より ・「職員間での打ち合わせができない時もあるが、反省点等ある時は必ず情報共有を心がけている」とあった。	・職員間での打ち合わせ、反省は日々心がけて行っている。各々専門職での知識や経験を踏まえながら、意見を交わし、情報共有を心がけている。

非常時等の対応	保護者より ・「伝言ダイヤルの練習をしている」とあった。 事業所より 「食物アレルギーについて」の項目について 「入園時医師の意見書の記載。アレルギーがある場合、保護者を介して対応を確認している。現在給食対応はしていない。」とあった。	・伝言ダイヤルの練習を保護者とも行い、災害時の連絡ツール確認をしている。定期的に避難訓練を行い、避難誘導についての確認を行っている。 ・食物アレルギーのある児童への給食提供は、個別に相談の上、可能な範囲としている。個々に検討し、安全管理上できない事を職員間で確認し、保護者にも面談や懇談会、書面で伝える。保護者と連携しながら、安全・安心の対応を心がける。
満足度	保護者より 「事業所の支援に満足している」の項目では皆様に「はい」と回答していただけた。	・今後もより良い事業所作りを目指し、様々な意見に耳を傾け、広い視野を持ち、支援をしていく。

以上